

令和8年度大阪市における AI アセスメント手法及び運用設計支援業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称
令和8年度大阪市における AI アセスメント手法及び運用設計支援業務委託
契約期間 契約締結日から令和9年1月15日まで

2 選定した委託予定事業者
PwC Japan 有限責任監査法人

3 公募期間
令和8年5月29日から令和8年6月25日まで

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（五十音順・敬称略）

委員氏名	役職等
岸本 充生	大阪大学 D3 センター 教授、大阪大学社会技術共創研究センター（ELSI センター） センター長
石橋 勇人	大阪公立大学大学院情報学研究科 教授
古崎 晃司	大阪電気通信大学 情報通信工学部 教授

(2) 選定会議の開催日

第1回 令和8年5月12日（書面決議）

第2回 令和8年7月21日

(3) 審査基準

評価項目	審査内容	項目点	加重	評価点
業務の理解及び実施にあたっての基本的な考え方	・本業務の背景（自治体における AI 活用の拡大とリスク管理、AI ガバナンスの必要性等）及び目的を十分に理解した上での提案となっているか。 ・本市の組織体制や規程、意思決定プロセス等を踏まえ、実務に適合する AI アセスメントの考え方が示されているか。 ・国の方針・ガイドラインや AI 技術の動向を踏まえつつ、自治体実務に落とし込む視点が明確であるか。	5	2	10
業務委託仕様書「4（1）AI アセスメントにおける評価項目及び評価基準の検討」の提案内容	国の AI 政策・ガイドラインや最新の技術・リスク動向を踏まえ、AI ガバナンスの観点から妥当な評価の枠組みが検討されているか。	5	3	15
	本市の業務・組織体制において実際に運用することを想定し、関係部署が理解・判断しやすく、実務に適合した評価項目・判断の考え方が示されているか。	5	3	15
業務委託仕様書「4（2）AI アセスメントの運用設計」の提案内容	現状の情報システムの承認手続や意思決定プロセスとの整合性が考慮され、アセスメントを実施すべきタイミングや頻度に関する考え方が適切に整理されているか。	5	2	10
	実務担当者が理解しやすく、迷わず対応できる運用ルールや説明方法を整理できる見通しがあり、ガバナンス確保と現場負担軽減	5	2	10

評価項目	審査内容	項目点	加重	評価点
	減の両立について、十分な配慮がなされた提案となっているか。			
取組スケジュール	本市との協議・確認を前提とした、現実的かつ実行可能なスケジュールとなっているか。 また、課題の変化や検討内容の深掘りが必要となった場合にも、柔軟な対応が可能と考えられる体制・進め方が示されているか。	5	1	5
実施体制	提案する業務の実施内容に対し、スタッフの人数が適正に確保されるなど、業務実施体制について具体的かつ明確に記述されているか。また、業務の繁忙度に応じて柔軟に対応できる体制が考えられているか。	5	2	10
	業務を適切かつ柔軟に実施するために必要な知識・経験等を有するスタッフの配置体制が確保されているか。	5	3	15
	過去に同種又は類似する事例に取り組んだ実績があるか。とりわけ、業務責任者は実績として上げた業務において中心的に参画していたか。	5	1	5
その他、仕様書に記載していない取組の提案	本市の背景、課題及び目的を踏まえ、本仕様に記載する以外の AI アセスメントの定着や高度化に資する取組方針・内容等が提案されているか。	5	1	5
合計				100

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

グラビス・アーキテクト株式会社

KDDI アジャイル開発センター株式会社

合同会社デロイトトーマツ

PwC Japan 有限責任監査法人 全4者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）（合計点の高い順）

評価項目	A 社	B 社	C 社	D 社
業務の理解及び実施にあたっての基本的な考え方	22	24	22	20
業務委託仕様書「4（1）AI アセスメントにおける評価項目及び評価基準の検討」の提案内容	69	72	69	57
業務委託仕様書「4（2）AI アセスメントの運用設計」の提案内容	46	44	46	40
取組スケジュール	12	10	9	12
実施体制	71	67	68	53
その他、仕様書に記載していない取組の提案	10	10	9	9
合計	230	227	223	191